

直接伝える土木広報：「ドボ博」のチャレンジ

(特非) シビルNPO 連携プラットフォーム 理事
公益社団法人土木学会 専務理事 塚田 幸広



土木学会は、2年前に土木広報センターを設置して、土木界が一体となって取り組む広報の中核となる組織的活動を開始。土木界の広報活動を支える常設組織の実務型のセンター組織として、広報窓口機能を始めこれからの土木界の広報機能を担う。センターを立ち上げてから、国民に直接伝えるための様々なアクションを展開している中から、オンライン土木博物館（ドボ博）を紹介しよう。

ドボ博は、日本初のオンライン博物館で、2016年8月にオープン。土木学会100周年記念事業の一環として立ち上げた『土木デジタルミュージアム』を全面的に更新する形でアーカイブスとミュージアムを両輪として、新たにつくられた。ドボ博は、土木図書館のデジタルアーカイブを最大限活用しながらも、土木の資料になじみのない方でも楽しんでいただけるよう、旧来の専門の枠にとらわれることなく、知的好奇心・想像力・遊び心に満ち溢れた展示である。

ドボ博を開設記念として「東京インフラ解剖」と題した企画展をスタート。この企画は、首都東京の88のインフラを動画とWEBにより分かりやすくかつ興味を持ってもらうように様々な工夫を凝らしている。「骨格系（生体の基本的支柱）：河川、濠等」、「循環器系（栄養・酸素を体内の各部に運ぶ）：道路、鉄道等」などのようにインフラを人体に見立て、解説していることも売りの一つである。新宿駅西口で土木の日のイベントで公開した際、小池都知事にも視察頂き好評であった。その後、「ドボ博」のプロモーションビデオを数カ月間にわたって新宿駅西口の大ビジョンと都庁へ向かう回廊で大々的に公開した。多くの通行人の方が立ち止まって見て頂くとともに、WEBのアクセスも急増した。

今後、全国各地の歴史・風土に染み込み、市民生活・産業活動に役立っているインフラを紹介する「ドボ博」を期待してほしい。

